＜令和３年度　運営推進会議における評価＞

【事業所概要】

法人名	有限会社　在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護　ふくふく釜利谷
所在地	（〒　236　－　0045　） 横浜市金沢区釜利谷南 2-4-22　白山ハイツ 1 階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・ご本人とご家族の意向や要望を尊重し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けていくことができるよう、地域との連携・情報共有を常日頃から意識して取り組んでいます。
・笑顔で来所して頂き、笑顔で帰宅して頂けるよう利用者様一人一人に寄り添った介護サービスの提供を心掛けています。
・在宅生活の限界点を決めずに、看護小規模多機能の特性を活かし利用者様・ご家族が望む生活が送れるよう支援しております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 12 月 4 日	従業者等自己評価 実施人数	（ 17 ）人　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 2 月 16 日	出席人数（合計）	（ 9 ）人　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	■自事業所職員（ 4 人）　□市町村職員（ 人）　■地域包括支援センター職員（ 1 人）　■地域住民の代表者（ 2 人） ■利用者（ 1 人）　■利用者の家族（ 1 人）　□知見を有する者（ 人）　□その他（ 人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		①法人の理念を再確認しいつでも実践できる体制を整える。 ②社内外の研修参加を積極的に行い、専門性を高められるよう努力する。 ③働きやすい職場づくりに励み、質の良いサービス提供に繋げる。 ④緊急時の具体的な対応方法の周知を行う。	①掲げている理念を意識し、ミーティングや研修で理念を再確認する機会を設けた。 ②定期的な社内研修の実施や喀痰吸引研修参加により専門性を向上させた。 ③業務担当表に休憩の時間と順番を記載し意識した取り組みを行った。 ④ヒヤリハット検討会により職員間で話し合い具体的な事例をもとに対応方法を周知した。	理念を掲げる事により看護小規模多機能のサービスの趣旨、意義を職員全員が意識し理解を深めようとしている。また各々の専門性を高めるために外部研修への参加、社内研修の内容の充実を図り、よりよいサービスの提供に繋げている。
Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	①利用者・家族に目標達成に向けた計画がもっとわかりやすく明確なものとなるよう支援していく。 ②看護職・介護職の両職種間の連携を強化しお互いの専門性を最大限に引き出せるよう、情報提供と情報共有を行う。 ③利用者・家族がサービスの内容を理解できるよう分かりやすい説明を行い、在宅生活を継続していける専門的なサービスの提供に努める。	①必要に応じて計画の説明を行い、無理のない範囲での達成できるよう支援した。 ②看護職・介護職が各々に専門性を意識しながら各職種を尊重しサービスの提供を行った。 ③サービス利用開始前、利用開始後にも疑問・不安点についての説明を丁寧に行い、利用者・家族がサービスを理解し安心して利用できるよう努めた。	看護・介護職間の情報共有にとどまらず主治医、訪問リハビリの専門職などの多職種との情報共有を行う事でサービス計画の明確化に努めることができた。 状況・状態変化が著しい看護小規模多機能の特性を理解し、臨機応変に対応できる体制の構築に尽力している。

	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	多職種・多機関との連携によりサービス提供の充実を図るとともに緊急時対策を医療機関と共有し関わる全職員が対応可能な体制づくりをする。	主治医との密な連携を取り 24 時間緊急時の対応が可能な体制を構築しサービスの提供に努めた。	365 日・24 時間体制の構築のために職員全員がサービスを理解し、多職種連携の重要性を認識できるよう努力している。緊急時の対応はサービス提供前にヒアリングし、サービス開始時には周知できるようになっている。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①地域への啓発活動を改善し、事業所およびサービス内容の周知を図り事業所の果たすべき役割を再認識できるようにする。 ②痰吸引・人工呼吸器・看取り支援を必要とする方の受け入れ体制を継続していくとともに積極的な受け入れを行う。	①昨年度に引き続き、コロナ禍で十分な啓発活動は行えなかった。 ②喀痰吸引等研修においては計画的に受講し有資格者を増やす事により事業所としての受け入れ体制を強化した。看取り支援を必要とする方の受け入れを行った。	高齢者が安心・安全に在宅生活が継続できるよう医療ニーズの有無を問わずに、支援を必要とする方の受け入れが常にできるように、受け入れ体制の充実を図っている。事業所の役割を地域に周知して頂く啓発活動の場が増やせると良い。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		サービスの導入により、利用者・家族が安心して在宅生活を送れるよう継続的な支援を行い、終末期においても不安なく過ごしていただける体制づくりを行う。	看護小規模の強みを活かし、老々介護、介護力の少ない家族でも安心して在宅生活が継続できるよう支援した。また利用者・家族に寄り添ったサービスの提供に努めた。	在宅生活が難しいかもしれないと思われるケースでも看護小規模多機能の柔軟さを活かしサービスの提供に努めている。終末期、看取りにおいても本人・家族が安心して最期が迎えられるサービスの提供に尽力している。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		⊙常に目につく場所に理念が掲示されており、職員の意識は高い。 ⊙研修の内容をマンネリ化させずに担当者及び外部講師による研修の実施により専門性を向上する事が出来た。 ⊙休憩時間は概ね取れるようになってきたが、日によっては忙しさの為に時間が短くなることもあった。 ⊙どんなに気を付けていても緊急事態は発生し得るものだと理解し、職員各々が意識できるようになった。	①看護小規模多機能のサービスの特徴を職員が十分に理解した上でサービスの提供にあたれるよう、新人研修および社内研修を活用し実践して行けるようにする。 ②法人内外の研修については、可能な限り受ける機会を確保し、職員間の協力体制を構築し就業環境が充実するよう努める。 ③サービス提供における緊急時の対策と災害等の緊急時の対策方針を常に共有し、引き続き研修にも取り入れていく。
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	⊙重度の方や意思の疎通が取れない方への支援に課題が見えた。 ⊙看護・介護職とのコミュニケーションが良好でお互いに信頼し合ってサービスの提供に努めることができている。 ⊙職員が看護小規模の役割を理解する事で、質の高いサービスの提供に繋げる努力ができたが、利用者・家族がサービスの内容を理解するまでに時間を要していることも分かった。	①利用者・家族を含めた状況把握に努め、看護小規模の特性を活かし在宅生活が充実する計画作成に努める。 ②利用者の起こりうる状況変化の予測と、変化の早期発見・早期対応に繋げられるよう看護、介護職員だけではなく多職種での情報共有ができる体制をつくる。 ③サービス提供時における多職種での情報共有を利用者・家族にも迅速に伝達する意識を持ち、サービスの趣旨・サービス内容・医療的処置の方法などの説明も行い、十分な理解を得られるようにする。

	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	状態の変化に応じて多職種との連携は取れており、管理者・ケアマネのみならず職員各々が意識できるようになった。	①医療機関からの利用スタートについては、退院前・退院後も安心して在宅生活が送れるよう、主治医を含め多職種での支援ができるよう連携と情報共有に努める。 ②緊急時・急変時の対応をすべての職員が周知できている体制の構築に尽力する。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	⊙運営推進会議は可能な限り開催し、地域のイベントにも参加することにより事業所の周知に尽力できたと思われる。 ⊙看護小規模のサービスに喀痰吸引研修、看取りへの理解は必須であり、職員の意識も高まっている。	①地域との関りに積極性を持つとともに、事業所の地域における役割を明確にすることで地域住民の方々に看護小規模サービスの正しい理解に繋げていく。 ②医療ニーズの高い利用者、終末期の利用者の積極的な受け入れが常時できる体制づくりを継続する。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		在宅生活を継続させるためだけではなく、高齢者が本当に最期まで安心して穏やかに暮らしていけるよう、利用者本人と家族に対しても支援できている。	看護小規模のサービスの概要を職員各々が再度認識し、サービスの導入により利用者及び家族が在宅生活を継続していけるか、また看取りまでの安心感を得て頂けているかを意識してサービスの提供に努める。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	15	2	0	0	・理念を掲示する事により職員のみなさんの意識が高くなることでより良いサービスの提供になるものと思います。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」 **※法人理念、事業所の月間目標を掲げてサービスの提供を行っている。**
		[具体的な状況・取組内容] ・具体的な理念をかかげ、24 時間体制で実践されている。 ・医療ニーズの高い利用者でも在宅生活が送れるよう支援している。 ・情報共有しサービスの提供、看取りの支援を行っている。 ・ホームページに掲載されており、地域包括との連携も行っている。					
2	○ サービスの特徴および事業	16	1	0	0	（4 項目目について）お世話	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏ま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	[具体的な状況・取組内容] **・定期的な研修、朝のミーティングで常時理解を深めている。** **・玄関に掲示し毎日の業務担当表にも記載している。** **・看多機の特徴を理解し実践いている。** **・常に利用者の心に寄り添ったケアを心掛けている。** **・新人研修などを通し事業所の理念等、学ぶ場がある。**				して頂いている中でいつも感じています。	えた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」 **※事業所入口玄関内に理念が掲示してあり職員およびご来訪いただいた方々にも見て頂けるようにしている。**
（2）人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	10	5	0	2	特になし	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・職員間の話し合いの上、個々の育成を考慮している。 ・新人研修・外部研修・社内研修の年間計画があり実施されているが育成計画が周知されていない。 ・毎朝のミーティングで他職種を交え情報交換・意見交換等の話し合いの場を設けている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機	12	4	0	1		✓ 「専門技術の向上のための日常

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	[具体的な状況・取組内容] ・喀痰吸引研修、認知症実践者研修など計画にそって確保されている。 ・社内研修時に外部講師を招き専門知識を学んでいる。				特になし	業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します **※私生活、勤務状況に支障のない範囲で外部研修の参加を促している。**
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	15	2	0	0	・職員の皆さんが同じように状態を把握して下さっていると思います。 ・看護、介護職間の連携はかなりのサービス向上に繋がるものと思います。	**※毎朝のミーティングと夜勤者への申し送り時間を有効に使って情報共有を行っている。**
		[具体的な状況・取組内容] ・毎朝のミーティング、記録ノートによる情報の共有をしている。 ・新規利用者や状態変化している利用者のカンファレンスや情報共有ができている。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	15	2	0	0	運営推進会議ではいつも色々と勉強させていただいています。その中でもご利用者様とそのご家族様のお話は我々が民生委員として高齢者の方に接する際の参考になっております。	**※運営推進会議の場では日頃より事業所へのありがたいお言葉を頂き職員の意識向上に繋がっている。**
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議にて地域と関わり、要望・助言を聞き、外部の方からの評価をサービスに反映する事ができている。 ・担当者から報告があり、改善すべき点は配慮している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・二か月に一回の開催だが、利用者の家族も参加して頂き、要望等を伺い対応できるようにしている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	9	5	3	0	特になし	✓ 「職員が､安心して働くことのできる就業環境｣の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」､「労働時間への配慮」などが考えられます **※職員の生活環境や体力面等を考慮し勤務形態、勤務時間の柔軟な対応を法人および事業所管理者、サービス提供管理責任者で話し合って決定している。** **また、話し合いがしやすい環境づくりをしている。**
		[具体的な状況･取組内容] ・ライフワークバランスを取り入れている。 ・体調不良などによる欠勤等の協力体制は整っている。 ・職員間で積極的に声掛けを行い、互いにアドバイスし合い、より良い職場環境にしようと努力している。 ・職員各々の精神的負担の軽減については管理者に相談できている。本人のみならず、家族の体調不良による急な勤務交代でも対応できている。 ・希望の曜日、時間の相談にのってもらっている。 ・十分な休憩時間の確保ができていないことがある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための希望環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	12	5	0	0	特になし	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します **※どんなに些細な事でも報告するようにしている。**
		[具体的な状況・取組内容] ・支援等の変化や変更があった際には随時速やかに朝のミーティングで取り上げ、状況を把握し職員間で共有している。また、再確認できるようにミーティングノートに記録し活用している。 ・業務中でも利用者の変化など迅速に報告ができており、対応している。					
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	13	4	0	0	ヒヤリハットを皆で共有して注意し合っていく事は大事だと思う。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・ヒヤリハット、事故報告を共有し検討会にて予防に取り組んでいる。 ・事故発生や事故予防に関する社内研修を行い、周知している。 ・車両事故においては全車ドライブレコ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		ーダー搭載により交通安全への意識向上に繋げ、事故発生時は検証もしっかりと行えている。 ・各種事故項目における社内研修が行われている。 ・利用者ファイル等の個人情報に繋がる書類に関しては、鍵の付いた書庫へ保管しており、必要のない書類は適宜シュレッダーにかけている。					**※サービス提供時の事故、送迎時の事故などあらゆる事故に関する研修を行うとともに事故報告書に基づき検討会を行う事で再発防止に努めている。**
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	8	9	0	0	とてもよく対応して下さっていると思います。台風や大雪の時も安心していられます。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます **※災害はいつ起きてもおかしくないという意識が職員に根付いている為、防災訓練や研修を行うと掘り下げて検討できるようになって**
		[具体的な状況・取組内容] ・台風や災害時の際は管理者かケアマネが各家庭に連絡し対応している。 ・法定の防災訓練を年二回実施し、防災委員会を設置して定期的に会議を行っている。 ・防災マニュアルを更新中。 ・防災物品、医療材料の最低限の準備はされている。 ・火災報知器が作動した時にどう対応するかミーティング中に抜き打ちで問い					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		かけ確認する場を定期的に設けている。					きている。 各項目のマニュアルの更新を行っている。
Ⅱ　サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	13	3	1	0	本人のその日の様子などをお伝えすると、それに合わせて見守りやサービスを行って下さるのでとてもありがたく思っています。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の状態の変化や自宅での状況に応じて必要時に評価しプラン修正、ケアに反映させている。 ・多職種と連携を図り 24 時間体制で支援できるようにアセスメントが行われている。 ・利用者と家族等の介護者が安心して在宅生活が送れるようにアセスメントを行っている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	11	5	1	0	特になし	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつ
		[具体的な状況・取組内容] ・朝のミーティングで常に情報やアセスメントの結果等の報告を受け共有されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・両職種間で情報共有し意見交換ができるようにしている。良好な関係が築けている為、アセスメントの共有ができている。					き合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	11	5	1	0	本人の意思をとても尊重して下さりまた家族のことも考えてお世話していただいていると思います。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者、家族との関わりから必要な情報をキャッチし計画に反映している。 ・必要時に訪問し、利用者・家族の思いを把握できるようにしており、計画立案している。 ・各担当者から情報提供があり、情報に沿ったケアを進めている。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	10	7	0	0	・心身機能の維持回復 ・寝たきり防止→離床促進 ・地域において自立した日常生活、などについて「ケアしてさしあげること」と同様に「できることをみつけてさしあげる」ことが大切であると実感しました。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・無理なくできる範囲での生活、心身の機能の維持回復を目指す計画がされている。 ・寝たきりにさせないよう、離床し機能回復や維持を促している。 ・個々に合った現在有する能力を無理せず心身機能の維持・回復を図り、重度な利用者においては寝たきりにならないた					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		めの計画を立案している。				一人一人に合わせてしっかりとお世話して下さっています。	
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	11	5	1	0	体制が整っているということでとても安心感があります。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・異常の早期発見に努めている。 ・看護、介護職より状況の変化が見られた時には、すぐに報告できる体制を取っている。また、情報は共有しリスク管理を行っている。 ・予測できる事については細かく観察する点を看護職より介護職へ伝える計画を作成している。 ・変化がない場合も 3 ヶ月に 1 回は評価し計画を見直している。					
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	9	8	0	0	本人の身体的、精神的状況や、性格などもよく把握してお世話をして下さっているのでたいへんありがたく思います。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・日々の関わりの中で得られた情報や、状態・状況の変化は側報告し合っており看護職と介護職で共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・情報をもとに、多角的にアセスメントし計画への追加・修正を行っている。 ・他職者同士で情報交換を行い、状況変化を早期に把握し計画作成に反映できている。 ・状況変化は早期に把握しているが、本人・家族の意思とのやり取りが困難なケースがあるとアセスメントの更新が少ない。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	13	4	0	0	送迎の短い時間でもしっかりと本人や家族の様子を把握して下さり必要があれば電話等でも確認をして下さいます。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・適宜訪問し自宅環境の変化や家族の状況を継続的に把握している。 ・自宅訪問や電話・メール等で連絡を取り利用者や家族の生活状況を把握するよう努めている。 ・生活状況や家族の意向、負担を考慮し通い・泊まりの調整をしている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標	14	3	0	0	特になし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	[具体的な状況・取組内容] ・報告書を作成し、毎月主治医へ利用者の状況変化、目標達成状況、計画変更等を報告している。 ・主治医、薬剤師、ST 等の多職種と目標達成に向け情報共有をしている。 ・利用者の状況変化の時には主治医等、事業所内外の他職種へ連絡・報告し、情報共有している。					達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	16	1	0	0	職員の皆さん全員が利用者本人の状態を把握してそれぞれの分野でよく見て下さっていると思います。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・コミュニケーションが良く取れている為、きちんと役割分担されている。 ・医療面では看護師の指示、指導を受け役割分担をしている。 ・看護師より指導を受け、柔軟なサービスを提供できている。 ・介護職が喀痰吸引等の研修を受け、看護に頼らず役割分担ができている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・看護、介護職間でのコミュニケーションは良好であり、専門性を活かし役割分担ができている。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	16	1	0	0	特になし	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・状況の変化はすぐに報告され対処している。昼食後の時間にバイタル表を基に、その日の状況を情報交換している。必要時はカンファレンスを通し対応策を検討している。 ・日々の業務担当表、ミーティングで連携がされている。 ・医療的な内容は常に看護師より説明を受け状態を把握しサービスの提供を行なっている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供	13	4	0	0	特になし	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、
		[具体的な状況・取組内容] ・看護職から疾病予防、病状の予後予測などの観点から説明や提案を受けてい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や提案等を行っている	る。					看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	14	3	0	0	入所前に見学してお話を伺った折、こちらの明るくて優しい雰囲気がとても気に入りました。 介護が初めてでサービスなども全然知らなかったのですが詳しく説明してしただき、安心して利用し始めることができました。利用している間に出てきたわからないことでもその都度教えて下さり、対応して下さるのでとても助かっています。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用前より本人、家族に施設の見学に来て頂きサービスの趣旨、特徴等を十分に説明し契約時、ケアプラン作成時にも説明し、質問や不安点にはその都度対応し理解を得ている。 ・介護保険自体が難しく、なかなか理解できない利用者、家族には理解しやすい部分から説明し、何度も説明を行っている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅	14	3	0	0	毎回細かくしっかりと計画	✓ 「利用者等の理解」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネより作成された計画の説明がされている。看護計画においても理解度に応じて十分な説明を行っている。 ・利用者、家族が質問等をしやすい環境づくりに努めている。				していただいています。困ったことやわからないことにもいつでも親身になって考えて下さるので感謝しております。	足度を評価します
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	14	3	0	0	看護の方々にもよくみて下さっており必要に応じて適切な処置やアドバイスもいただいています。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・看護職が訪問し、指導に当たっている。家族の理解度、習得状況に応じて繰り返し説明・指導を行っているが、主介護者が高齢でできないケースもある。 ・接し方や言葉遣いに十分注意し信頼されるように心掛けている。 ・在宅酸素、輸注器、吸引器などは業者からも説明がなされている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	13	4	0	0	本人の希望や意向を本当によく聞いてお世話して下さっていると思います。常に感謝しております。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します ※介護者の思い(考え)が先行しな
		[具体的な状況・取組内容] ・重症化した場合、状態を家族へ説明し主治医へ連絡を取り、急変時などすぐに対応できるようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・終末期においては家族の希望、意向を主治医を交えて話し合い反映し、サービスの提供を行なっている。 ・本人、家族の思いを傾聴し寄り添えるようサービスの提供をしている。					**いよう常に利用者様の視点でサービスの提供ができるよう心掛けている。**
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	13	4	0	0	特になし	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します **※本人の意思確認が出来ない時は家族・主治医と相談しその情報を職員全員で共有できるようにしている。**
		[具体的な状況・取組内容] ・現在の病状と、発生し得るリスクを説明しいつでも相談できる環境づくりをしており、将来発生し得るリスクなどの対応策の検討・相談は利用者、家族ともに共有する事が出来ている。 ・利用開始時より、病態・病状を理解して頂き、予測される状態の変化やリスクを伝えている。状態の報告はその都度行い、自宅での注意点や対応策も伝えている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向	14	3	0	0	特になし	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくでき
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医からの説明を受けた後、本人・家族の理解度・受容状況を確認し本人・家族の思いを傾聴、受容し必要に応じて					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	等を記録として残している	丁寧な説明を加えている。 ・日々の状況の変化、今後予測される状況を説明し家族の意向や反応等を全て記録として残している。					ている」
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	14	3	0	0	特になし	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・看護師、ケアマネが退院カンファレンスに参加して情報を共有し、在宅に向けての方向性を話し合っている。 ・主治医との連携をスムーズに取れるよう情報共有は常に行っている。 ・コロナ感染拡大の為、退院時カンファレンスが開催されないこともあった。 ・退院までには家族の不安などを解決し安心して在宅生活に移行できるようにしている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、	13	3	1	0	もしもの場合でもすぐに対	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	**[具体的な状況・取組内容]** ・利用者の状態変化は随時相談できるようにしている。 ・主治医へは電話や情報提供書などを利用し情報を共有する事で緊急時の対応を迅速にできるようにしている。 ・医療ニーズの高い利用者への対応はできているが、家族と連絡が繋がりにくい利用者への対応が課題としてある。				応して頂けるという安心感があります。	等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	14	3	0	0	職員のみなさんの緊急時対応や状態変化に対する意識は充実したサービスが提供できると思います。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・24 時間オンコールで即座に対応できる体制を取っている。 ・往診医では 24 時間対応。往診医のいない利用者については救急対応となるが、24 時間急変時の対応について共有できている。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	13	4	0	0	・運営推進会議に参加して、利用者の方が信頼して来ている事がよくわかります。 ・地域イベントへ参加し周知することは大事な事だと思います。推進会議へは出席するよう努めてまいります。 ・認知症になっても安心して暮らす事ができる地域を作るためにＲＵＮ判+にランナーとして参加して頂き地域のイベントとして事業所と一体になり応援できました。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議において利用者、利用者家族、地域包括センター職員、民生委員等への情報提供を行い、多職種とともに検討・支援を行っていく取り組みがされている。 ・定期的な運営推進会議の開催により地域との連携が取れている。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録につい	15	2	0	0		✓ 「誰でも見ることができる方法

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	て、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	**[具体的な状況・取組内容]** ・運営推進会議録は専用のファイルに綴じられており、いつでも誰でも閲覧できる状態になっている。 ・運営推進会議翌日のミーティングで情報発信がされている。				特になし	での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	11	6	0	0	コロナが落ち着きましたらぜひ白山道町内会の祭礼や防災訓練にもご参加いただければと思います。 また、ふくふくさんで開催されるイベント（お誕生日会等）も見学させていただけたら幸いです。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・事業所防災訓練、運営推進会議に参加して頂きサービスの趣旨・概要をお伝えしている。 ・町内の行事、地域の行事に参加し親睦を深めると共に、事業所の役割等を可能な範囲で伝える事により啓発活動に繋げている。 ・今年度は医療機関へ看多機の講義を行う事が出来た。					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介	2	2	1	12		現段階で登録利用者の対応で手いっ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	[具体的な状況・取組内容] ・登録者以外を対象とした訪問看護を実施できていない。				右記の補足を運営推進会議にて説明させて頂きました。	ぱいとなり登録者以外の訪問看護ができていないが、指定訪問看護事業所の指定を受けているので、今後は看護職員の増員等に尽力し積極的な訪問看護が行える体制を整えていきたい。
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	17	0	0	0	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職員が喀痰吸引等研修を計画的に受講し、事業所としての受け入れ体制がしっかりと整っている。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす	4	7	1	5	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] ・体制は整っているが対象者がいない。 ・医療機関からの受け入れ体制の問い合わせには整っている旨を伝えているが、利用に至っていない。 ・他事業所の人工呼吸器を必要とする利用者の情報共有を随時行っている。					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	14	3	0	0	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・受け入れ体制が整っており、積極的に受け入れている。 ・本人、家族が安心して最期を迎えられるように最善を尽くしケアを行っている。 ・介護職員（特に夜勤者）に対してもメンタルケアを行い、全職員で「看取り支援」を理解できるように話し合っている。					
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よくできている</th><th>おおよそできている</th><th>あまりできていない</th><th>全くできていない</th></tr>
<tr><td colspan="7">① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">38</td><td rowspan="2">○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している</td><td>5</td><td>11</td><td>1</td><td>0</td><td rowspan="2">・地域包括ケアシステムの在宅系サービスとして地域の民生委員とケアマネジャーの情報交換会に参加して頂き地域とのネットワーク構築にも努めて頂いた。</td><td rowspan="2">✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します
✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます
✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・地域における看多機の役割は理解しているが職員全員が地域包括ケアシステムを明確に理解するには至っていない。
・研修等でも取り上げるようにして、地域包括ケアシステムの理解を深めようと努めている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">39</td><td rowspan="2">○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している</td><td>17</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td rowspan="2">特になし</td><td rowspan="2">✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します
✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます
✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・提供エリアを限定することなく、対象地域全体にサービスを提供している。
・事業所住所地に近い方の受け入れを積極的に行う事で地域密着サービスの強みを見出している。</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	10	7	0	0	特になし	✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議開催や、地域の行事に参加する事で課題の抽出を行っている。 ・防災に力を入れ、常に課題提起や改善策の提案を相互に行う事が出来ている。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	10	6	1	0	家族ではなかなか気づかない部分への手すりの配置などもアドバイスして下さったのでたいへん安全で動きやすい環境になりました。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます
		[具体的な状況・取組内容] ・家族へ排泄介助や移乗介助の指導、助言を行っており、転倒等の事故が起きないよう住宅環境の整備の提案等も行っている。 ・介護に関する事、サービスに関する事の相談がしやすい環境づくりに尽力している。 ・利用者へは近隣住民との関わりを促し、在宅生活を支えて頂けるよう可能な					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		限り情報提供を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている（13名） ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている（4名） ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない **[具体的な状況・取組内容]** ・状況の変化に応じた計画目標にする事で利用者が達成できるサービスの提供に努めている。 ・各職種間で目標を共有し対応している。	各家庭に合わせての介護サービスを本当にありがたく思っています。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
		１．ほぼ全ての利用者について、達成され		

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	ている（17名） ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない [具体的な状況・取組内容] ・本人、家族への説明と必要時の対応により安心した在宅生活を過ごして頂けている。 ・24 時間体制が整っており、家族による呼び出しには迅速に訪問し安心感を得て頂いている。 ・看護師、ケアマネが24時間連絡の付く携帯電話を所持し連携を取ることにより迅速に対応できている。 ・医療ニーズの高い方でも安心して在宅生活が送れるよう看護師がすぐに対応できる体制が整っている。	特になし	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている（17名） ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない ５．看取りの希望者はいない	特になし	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		[具体的な状況・取組内容] ・在宅（事業所含む）での看取りを希望する利用者、家族に対しては丁寧かつ理解できるように説明を行い、不安を取り除き最大限サポートすることを伝える事により、在宅での看取りに対する安心感に繋げている。 ・主治医との連携が取れている。 ・面会の際には、状態・行ったケア等の報告、予後の経過について説明する事により、家族が受容できるように心掛けている。 ・いつでも面会に来て頂けるようになっている（泊まり込みも可能）		泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」